



栃木県立佐野松桜高等学校

全
日
制



所在地 〒327-0102 佐野市出流原町643-5
 電話 0283-25-1313
 F A X 0283-25-3143
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/sanoshooh/nc2/>
 創 立 昭和49年 栃木県立佐野商業高等学校 設置
 平成 6年 栃木県立佐野松陽高等学校 設置
 平成23年 栃木県立佐野松桜高等学校 設置
 課 程 全日制課程
 設置学科 情報制御科 商業科 家政科 介護福祉科
 生徒数 670名(男子298名 女子372名)(令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 佐野駅からバスで約20分(佐野市生活路線バス)

I 学校の概要

本校は、平成23年4月、栃木県立田沼高等学校と佐野松陽高等学校とが統合し誕生しました。地域社会に貢献できる産業人の育成を目指し、一人ひとりの個性を生かした教育に力を入れています。

1 学校教育目標等

○学校教育目標

健康で豊かな人間性を備え、高い専門性と創造力を身につけた、社会に貢献できる産業人を育成する。

○指標

健康 創造 奉仕

○目指す学校像

- ・心身の健康とともに、自己を取りまく社会や環境にも配慮できる生徒を育てる学校
- ・部活動・生徒会活動・学校行事をとおして、豊かな心と広い視野をもった生徒を育てる学校
- ・情報制御・商業・家政・介護福祉各科の特性に応じた目的意識を持ち、意欲的に学業に取り組む生徒を育てる学校
- ・キャリア教育や地域との交流をとおして、地域社会の発展に貢献できる生徒を育てる学校

○募集する生徒像

本校の教育目標・目指す学校像を理解し、次の(1)から(5)までのうち、複数に該当する生徒

- (1) 明確な目的意識をもって学習する生徒
- (2) 部活動・生徒会活動・学校行事などに前向きに取り組む生徒
- (3) 資格取得をとおして進路実現を目指す生徒
- (4) 地域社会に貢献する意欲をもった生徒
- (5) 身だしなみや挨拶、言葉遣いなどのマナーを身に付けた生徒

2 沿革

昭和49年、栃木県立佐野商業高等学校として佐野市出流原の地に産声を上げました。平成6年に情報制御科を新設し、栃木県立佐野松陽高等学校と校名変更。平成23年、栃木県立田沼高等学校と統合、情報制御科、商業科、家政科、社会福祉科の4つの専門学科を擁する栃木県立佐野松桜高等学校となりました。佐野商業高校設置以来佐野地域の産業人育成を担い、平成26年度に40周年を迎えました。(現在、社会福祉科は介護福祉科へ改称)

3 施設・設備

(1) 体育施設等

- ・広大なグラウンド(総面積約38,000㎡、野球部、サッカー部、ラグビー部が同時に活動可能)
- ・テニスコート4面(クレーコート)
- ・弓道場及び柔剣道場
- ・第1体育館(講堂兼体育館 アリーナ約900㎡)、第2体育館(アリーナ約900㎡)
- ・全普通教室にエアコンが完備

(2) 専門学科の実習施設

○情報制御科

- ・NC工作室(NCフライス盤・NC旋盤)
- ・機械実習室(旋盤・溶接)
- ・全実習室間コンピュータネットワーク、パソコン室
- ・FAメカトロニクス室(オルゴール組み立てライン)



- 商業科
 - ・総合実践室 ・第1情報処理室、第2情報処理室、第3情報処理室 ・計算実務室 ・課題研究室
- 家政科
 - ・第1被服実習室、第2被服実習室 第1調理実習室、第2調理実習室
- 介護福祉科
 - ・介護実習室 ・入浴実習室



II 学校、学科の特色

1 県南地区唯一の総合選択制専門高校※1

自分の属する学科以外の科目も一定の範囲で選択して学ぶことができます。例えば、情報制御科の生徒（R2年度入学生）は、自学科の科目（通信技術、コンピュータシステム技術）、商業科目（ビジネス実務、マーケティング）、家庭科目（服飾手芸）、福祉科目（生活支援技術）、数学Ⅲ、音楽Ⅱ、英語表現Ⅰの中から、興味関心や進路目的に応じた科目選択ができます。

※1 総合選択制専門高校…興味関心や進路目的に応じ、一定の範囲で他学科科目を選択履修できる教育課程を持つ高校のこと。

2 魅力的な4つの専門学科

(1) 情報制御科（工業学科）

機械・電子・情報に関する基礎的な知識・技術をもとに、一人一台のロボットを製作することにより、工業技術を総合的に学習することができます。また、本校独自に開発した各種教材により、相互に関連性を持った技術・技能に取り組むことができます。

(2) 商業科（商業学科）

ビジネス社会で必要とされる知識・技術を身につけたスペシャリストを育成するため、1年の基礎科目を学習した後、2年からは、生徒の興味・関心・進路に応じた科目を選択履修することにより、会計分野、マーケティング分野、マネジメント分野、ビジネス情報分野の系統的学習を取り入れています。

(3) 家政科（家庭学科）

生活に関する専門的な知識と技術を身につけます。被服、食物、保育の学習を中心に、各分野での家庭科技術検定1級の資格取得が可能です。また、色彩、ビジネス文書、情報処理に関する資格取得も可能で、生徒の多岐に渡った進路選択にも対応をしています。

(4) 介護福祉科（福祉学科）

福祉に関する専門的な知識と技術を身につけ、特に介護に関して専門的に学習します。介護福祉士国家試験の受験資格が取得できるカリキュラムが整備されており、3年間で59日間の施設での実習を行っています。なお、介護福祉科は、学科の特性上、他学科の科目は選択できません。令和2年度の卒業生は、介護福祉士国家試験に全員合格しました。

3 充実したキャリア教育

(1) 学校行事としての企業や大学等の進路見学及び卒業生講話、インターンシップ（職業体験）の実施

(2) 全職員による企業訪問（進路開拓・インターンシップ先開拓）及び面接指導の実施

(3) 大学進学者に対する個別指導（入学試験対策や合格後の個別指導）及び面接指導の実施

III 進路状況

1 概況

令和2年度の卒業生は、就職43%、進学57%でした。就職希望者の内定率は100%で、特に1回目の就職試験での合格率は96%でした。進学についても、学科の特性を生かした多様な進学実績を誇っています。

2 卒業生の進路先 ※五十音順、敬称略

【就職先】

- (1) 鉱業 村樫石灰工業
- (2) 建設 田部井工業 東邦建 ポラスハウジング
- (3) 製造 IDX アキレス アジヤアルミ あわしま堂 いすゞ自動車 エルモア関東 関東ミナセル 協立機興 共和工業 ケイミュー 三州食品 柴産業 信和 新日本金属 新明和工業 新和工業 SUBARU 大協精工 竹内産業 マレリ ダノンジャパン 東京計器 東京食品産業 東京フード 東邦車輜 日産自動車 ニフコ北関東 ハウス食品 日立グローバルライフソリューションズ 山崎製パン シミックCMO 日立ジョンソンコントロールズ空調 藤倉化成 まるか食品 富士フィルムテクノプロダクツ ヤマザキビスケット 吉澤石灰工業
- (4) 運輸・郵便 佐川急便 日本郵便
- (5) 卸・小売 足利給食センター 足利電装 ケーズホールディングス シグナル 立花商事 ティムティム 東ハト 栃木トヨタ自動車 トルク ニッケン産業 ネットトヨタ栃木 プーマジャパン 松吉医科器械
- (6) 金融・保険 足利銀行 佐野信用金庫 栃木銀行

- (7) 不動産・物品賃貸 ケイアイスター不動産 新日金開発
 (8) サービス コメダ珈琲 日本ハウス・ホテル&リゾート 足利カントリークラブ
 太平洋ゴルフクラブサービス プラチナムプロダクション 吉川油脂 日本郵便
 プレステージカントリークラブ きんもくせい 恵明会きぼう さくらの里
 ピジョン真中 わたなべ整形外科 佐野農業協同組合 アサヒセキュリティ

(9) 公務員 防衛省

【主な進学先】()内は学部、学科を示す。

(1) 大学

- ①公立文系 高崎経済大学(経済)
 ②私立理系 神奈川工科大学(情報) 桐生大学(医療保健) 日本工業大学(先進工・建築)
 群馬医療福祉大学(リハビリテーション) 群馬パース大学(リハビリテーション)
 工学院大学(先進工) 埼玉工業大学(工) 千葉工業大学(情報科学)
 ③私立文系 育英大学(教育) 宇都宮共和大学(シティライフ) 国土館大学(法)
 埼玉学園大学(経済経営) 城西大学(経済) 高崎商科大学(商)
 千葉商科大学(商経) 東京未来大学(こども心理) 日本大学(商)
 日本薬科大学(薬) 白鷗大学(経営) 文教大学(情報)
 ④私立体育系 仙台大学(体育) 平成国際大学(スポーツ)

(2) 短期大学

- ①私立文系 足利短期大学(こども) 宇都宮短期大学(人間福祉) 埼玉純真短期大学(こども)
 佐野日本大学短期大学(総合キャリア教育) 高崎商科大学短期大学部(現代ビジネス)
 帝京大学短期大学(現代ビジネス) 目白大学短期大学部(ビジネス社会)

(3) 職業訓練校 関東職業能力開発大学校(電子情報技術)

(4) 専修学校・各種学校

- ①工業・農業分野 宇都宮日建工科専門学校 太田自動車大学校 群馬日建工科専門学校
 ②医療分野 太田医療技術専門学校 晃陽看護栄養専門学校 館林高等看護学院
 国際ティビシィ小山看護専門学校 マロニエ医療福祉専門学校
 ③衛生(調理)分野 足利製菓専門学校 大宮スイーツ&カフェ専門学校
 晃陽看護栄養専門学校 国際TBC調理・パティシエ専門学校
 ④衛生(理美容)分野 足利デザイン・ビューティ専門学校 EIKA美容専門学校
 大宮ビューティー&ブライダル専門学校 国際テクニカル美容専門学校
 ⑤商業実務分野 宇都宮ビジネス電子専門学校 国際テクニカルデザイン・自動車専門学校
 東京IT会計法律専門学校大宮校
 ⑥服飾・家政分野 大宮ビューティー&ブライダル専門学校 織田ファッション専門学校
 文化服装学院
 ⑦文化・教養分野 宇都宮メディア・アーツ専門学校 太田情報商科専門学校
 大原スポーツ公務員専門学校宇都宮校 国際テクニカルデザイン・自動車専門学校
 日本外国語専門学校 日本工学院専門学校

進路実績内訳		大	学	短	大	職業訓練校	専修学校	就職・進学	就	職	そ の 他	合計
情報制御科	男子	18	1		1	17	0	40	0	77		
	女子	0	0		0	0	0	0	0	0		
商業科	男子	4	1		0	4	0	6	0	15		
	女子	6	7		0	20	0	29	0	62		
家政科	男子	0	0		0	0	0	0	0	0		
	女子	3	9		0	16	0	13	0	41		
介護福祉科	男子	1	0		0	0	0	1	0	2		
	女子	0	3		0	16	0	8	0	27		
合計	男子	23	2		1	21	0	47	0	94		
	女子	9	19		0	52	0	50	0	130		
総合計		32	21		1	73	0	97	0	224		
		127										

IV 特別活動等の紹介

1 活力を重視した学校行事

- ・球技大会
- ・公開授業(地元小中学校・保護者に1週間授業を公開)
- ・学校祭と体育祭(学校祭は3年に1度。学校祭のない年は体育祭を実施)
- ・マラソン大会
- ・修学旅行(沖縄方面)
- ・生徒研究発表会(各科の研究成果を発表する機会)



- 2 学科の特徴等を生かした地域連携
 (1) 4学科合同の学校紹介イベント「佐野松桜高校フェスタ」の実施
 (2) 「東京ソラマチ」、「どまんなかフェスタinさの」、「ピクニックマルシェ」、「クールアースデイ」
 (3) 地域の保育園・幼稚園、小学校、高齢者施設、障害者施設、特別支援学校等への訪問やボランティア
- 3 多様で盛んな部活動
 各専門学科の学習内容を応用・発展させた活動を行う部（下記で下線の付いた部）があることも本校の特徴です。
 【運動部】
 野球、陸上競技、サッカー、ラグビー、弓道、ソフトテニス（男女）、卓球（男女）、バレーボール（男女）、バスケットボール（男女）、テニス、ソフトボール（女）、ダンス
 【文化部】
 吹奏楽、美術、茶華道、演劇、情報制御、商業、ホームメイド、ふれあいクラブ

V 特色選抜について

- 1 定員の割合
 情報制御科 30%程度 商業科 30%程度
 家政科 30%程度 介護福祉科 30%程度
- 2 出願するための資格要件
 本校で学ぶために必要な能力を備え、次の（1）に該当する者、または（1）及び（2）の両方に該当する者
 (1) 志願する科について、各々が示す内容に該当する者
 【情報制御科】
 ものづくりや工業に強い興味関心を持ち、将来の技術者を目指し、積極的に学習に取り組むことができる者
 【商業科】
 簿記やコンピュータに興味・関心がある者で、商業に関する基礎的な知識と技術を積極的に身に付けたい者
 【家政科】
 衣食住や保育など家庭科に興味・関心がある者で、向上心を持って根気強く知識・技術を習得しようとする者
 【介護福祉科】
 コミュニケーション能力があり、福祉に興味・関心がある者で、介護福祉士の資格取得を強く希望する者
 (2) スポーツ活動、文化活動、生徒会活動などに前向きに取り組んだ者で、高校入学後も積極的に活動する意志のある者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	【情報制御科】・【商業科】・【家政科】 個人面接 時間10分程度 (中学校で習得した基礎的な学習に関する口頭試問を含む。)
	【介護福祉科】 個人面接 時間10分程度
作 文	【全学科共通】 時間30分 字数350～400字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点）また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを評価する。
- 3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の80%以内にある者（ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の80%以内にある者）で、面接・作文の評価において、適性があると認められた者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた受検者のうち、【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の100%以内にある者（ただし、受検者が定員に満たない場合は、全ての受検者）で、資格要件の（2）に該当する事項が特に顕著であり、面接・作文の評価において、適性があると認められた者を合格内定とする。

第3次審議

第1・2次審議において、合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。